究極的には，問題のもつ本質的な何かを総合的にとらえる能力，あるいは「センス」といったほうがよいのかもしれないが，それが要求されることになる．本論で示したフロー体系は，きわめて不完全で独断的な面もあるが，実用的なORを多少なりとも志向したつもりである．問題解決の一助になれば幸いである．

個々の手法の説明は今回は割愛した．なお，詳細な説明は，(財)流通システム開発センター発行の「流通システム・シミュレーション・マニュアル(地域流通編)」を参照されたい．

はせがわ・ふみお　1948年生
(財)流通システム開発センター　嘱託研究員
略歴：電気通信大学大学院(工学修士)を経て現在
　　清水建設(株)技術開発本部
専門：システム工学

52年度 庶務幹事会名簿

理事　出居　茂　早稲田大学・システム科学研究所
　　反町洋一　㈱三菱総合研究所
　　司馬正次　筑波大学・社会工学系
幹事　浜　民雄　経済企画庁
　　平野和夫　東亜燃料工業㈱
　　上野淳三　住友電気工業㈱
　　田口　東　東京大学・工学部
　　藤野和建　東京大学・工学部
　　江藤　肇　筑波大学・社会工学系

52年度 会計幹事会名簿

理事　山本正明　法政大学・工学部
幹事　山口俊和　東京理科大学

52年度 IAOR委員会名簿

委員長　伏見正則　東京大学・工学部
委員　出居　茂　早稲田大学・システム科学研究所
　　梅沢　豊　東京大学・経済学部
　　橋田　温　武蔵野電気通信研究所
　　岡本吉晴　㈱三菱総合研究所
　　大山達雄　電力中央研究所

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．